

ごみの排出状況等に関するアンケート調査の結果

調査の目的と概要

1 調査の目的

市では、「ごみ処理基本計画」を策定し、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでいるところです。ごみの減量化等は、市の取り組みだけでは進めることはできず、市民の理解と協力が必要となります。

令和2年度に計画の改訂(中間見直し)をむかえることから、今後の方向性や施策を検討する際の資料とするために、市民のごみの減量化等への取組状況や取り組みへの意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査概要

(1) 調査日程

調査のスケジュールは以下に示すとおりです。

令和2年6月30日に発送し、概ね3週間留置の7月22日を締め切りとしました。

表1-1 調査のスケジュール

発送日	留置	締め切り
令和2年6月30日	3週間	令和2年7月22日

(2) 調査方法

市政モニター登録者78人を対象に、インターネットにより回答する方法、郵便により郵送・回答する方法で実施しました。

(3) 調査内容

実施アンケートの設問内容は表1-2に示すとおりです。

なお、調査結果の回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、合計が100%を上下する場合があります。

表 1-2 アンケート設問

分類	問	設問
1 あなたご自身とご家族について	1	ア 性別
		イ 年齢
		ウ お住いの住居
		エ 同居者の有無
		オ お住いの地域
2 分別数(7種 14 分別)について	2	本市の分別数
3 収集回数について	3	収集回数及び容器の大きさ
4 分別方法の確認について	4	ごみ・資源物排出カレンダー以外の分別方法の調べ方
5 資源循環の活動について	5	実践しているエコ活動(11 アール)の取り組み
6 雑がみについて	6	雑がみの出し方
7 シュレッダーごみについて	7	シュレッダーごみの排出方法
	8	シュレッダーごみの年間排出数量
8 古布ごみについて	9	古布類の排出方法
	10	古布類の年間排出数量
9 生ごみについて	11	実践している生ごみ減量化の取り組み
10 食品ロスについて	12	3010 運動の取り組み
	13	3010 運動を実践したことはありますか
	14	機会があれば 3010 運動を実践しますか
11 ごみの有料化について	15	ごみ処理経費の一部負担への意向
	16	「負担してもよいと思う」「条件を整えば負担してもよいと思う」理由
	17	「条件を整えば負担してもよいと思う」の負担に必要な条件
12 その他	18	ごみ収集に関するご意見・ご要望等

調査結果

本調査の結果を以下に示します。

3 調査票の回収結果

本調査の回収率を表 2-1 に示します。調査票は、市政モニター登録者 78 人に発送し、そのうちの 68 件を回収しました。回収率は 87.2%でした。

インターネットによる回答は 37 件、郵便による回答は 31 件でした。

表2-1 本調査の回収率

発送数	回答数	回収率
78	68	87.2%

【1 あなたご自身とご家族について】

問1 あなたについて教えてください。該当する選択肢に○をつけてください。

ア 性別

回答者は、「女性」が約 53%、「男性」が約 47%でした。

表2-2 回答者の性別

		(n=68)	
		回答数	%
1	男	32	47%
2	女	36	53%
		68	100%

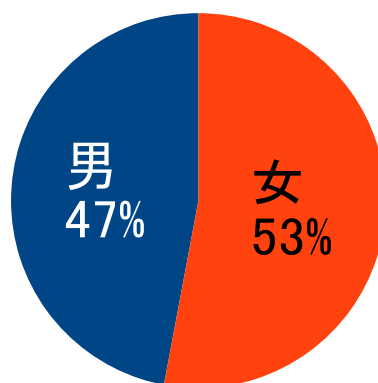


図2-1 回答者の性別割合

イ 年齢

回答者の年齢層は、「70代」と「50代」が約22%で最も多く、次いで「60代」が約19%となっています。

表2-3 回答者の年齢

(n=68)

	回答数	%
1 ~20代	0	0%
2 30代	12	18%
3 40代	12	18%
4 50代	15	22%
5 60代	13	19%
6 70代	15	22%
7 80代~	1	1%
	68	100%

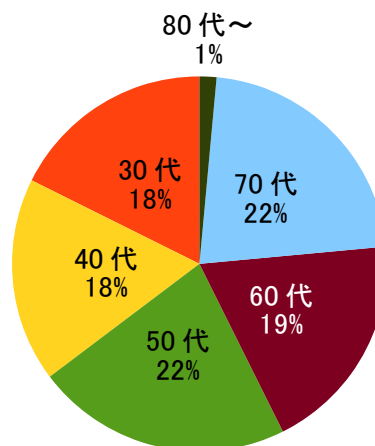


図2-2 回答者の年齢割合

ウ お住いの住居

回答者のお住まいの住居は、「一戸建て」が約75%で最も多くなっています。

表2-4 回答者のお住いの住居

(n=68)

	回答数	%
1 一戸建て	51	75%
2 集合住宅 (アパート、マンション、団地等)	17	25%
	68	100%

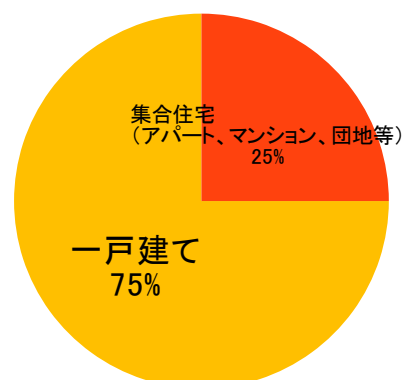


図2-3 回答者のお住いの住居割合

エ 同居者の有無

回答者の同居者の有無は、「配偶者」が約46%で最も多く、次いで「子」が約32%となっています。

表2-5 回答者の同居者の有無

(n=114)

	回答数	%
1 祖父母	1	1%
2 親	15	13%
3 配偶者	53	46%
4 子	37	32%
5 孫	3	3%
6 1~5以外の方	5	4%
	114	100%

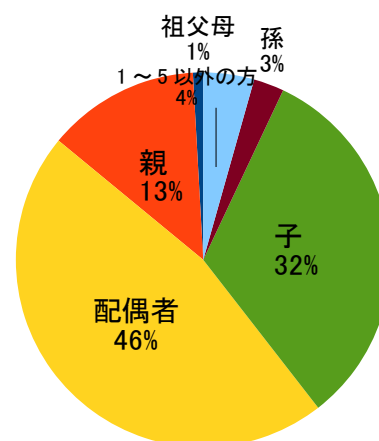


図2-4 回答者の同居者の有無割合

オ お住いの地域

回答者のお住いの地域は、「一箕地区」が約 28%で最も多く、次いで「門田地区」が約 12%となっています。

表2-6 回答者のお住いの地域

(n=68)		
	回答数	%
1 行仁	2	3%
2 鶴城	3	4%
3 謹教	7	10%
4 城北	4	6%
5 日新	3	4%
6 城西	6	9%
7 町北	1	1%
8 高野	0	0%
9 神指	0	0%
10 門田	8	12%
11 東山	2	3%
12 一箕	19	28%
13 大戸	0	0%
14 湊	1	1%
15 北会津	5	7%
16 河東	5	7%
17 わからない	2	3%
	68	100%

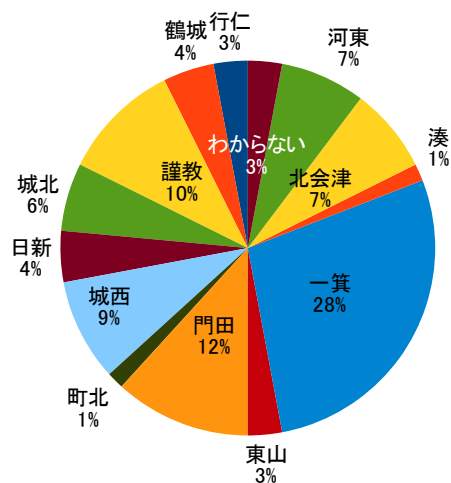


図2-5 回答者のお住いの地域割合

【2 分別数（7種14分別）について】

問2 表にある本市の分別数をみて、該当する選択肢ひとつに○をつけてください。

〈参考:分別一覧表〉

分別区分	
7種	14 分別
①燃やせるごみ	
②燃やせないごみ	
③かん類	③スチール缶
	④アルミ缶
④びん類	⑤無色びん
	⑥茶色びん
	⑦その他びん
⑤プラスチック類	⑧ペットボトル
	⑨プラスチック製容器包装
⑥古紙類	⑩新聞紙
	⑪雑誌・雑がみ
	⑫ダンボール
	⑬紙パック
⑦粗大ごみ	⑭粗大ごみ・リサイクル品

分別数は、「適当」が約53%で最も多く、次いで「多いが苦ではない」が約29%となっています。

表2-7 本市の分別数

(n=68)

	回答数	%
1 多すぎる	3	4%
2 多いが苦ではない	20	29%
3 適当	36	53%
4 もっと増やすべきだ (古布や小型家電など)	9	13%
5 わからない	0	0%
	68	100%

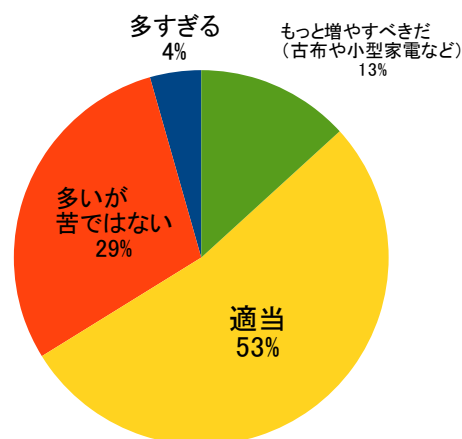


図2-6 本市の分別数割合

【3 収集回数について】

問3 市が回収する、収集回数及び容器の大きさについて、各種類ごとに感じている項目の欄に○をつけてください。

ア 燃やせるごみ

燃やせるごみは、「適当」が約91%で最も多くなっています。

表2-8 収集回数(燃やせるごみ)

(n=68)

	回答数	%
1 多い	1	1%
2 適当	62	91%
3 少ない	5	7%
	68	100%

収集回数

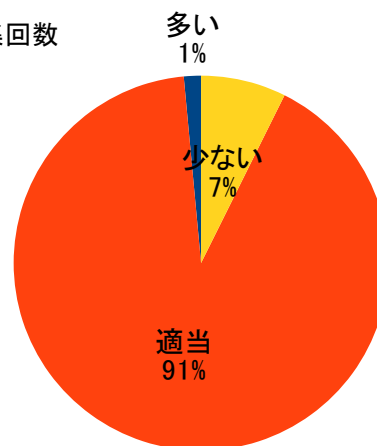


図2-7 収集回数割合(燃やせるごみ)

イ 燃やせないごみ

燃やせないごみは、「適当」が約 85%で最も多くなっています。

表2-9 収集回数(燃やせないごみ)

(n=68)

	回答数	%
1 多い	0	0%
2 適当	58	85%
3 少ない	10	15%
	68	100%

収集回数

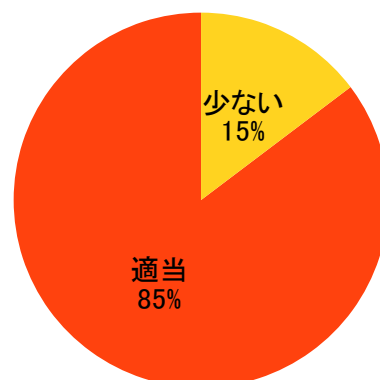


図2-8 収集回数割合(燃やせないごみ)

ウ 古紙類

古紙類は、「適当」が約 93%で最も多くなっています。

表2-10 収集回数(古紙類)

(n=68)

	回答数	%
1 多い	3	4%
2 適当	63	93%
3 少ない	2	3%
	68	100%

収集回数

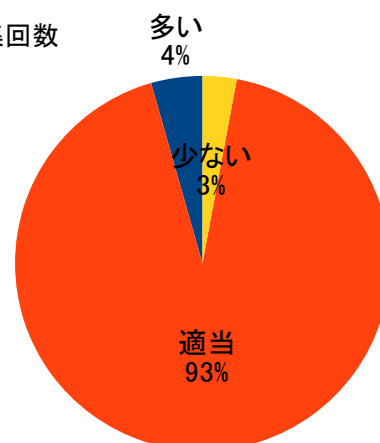


図2-9 収集回数割合(古紙類)

エ かん類

収集回数は、「適当」が約82%で最も多くなっています。

容器の大きさは、「適当」が約82%で最も多くなっています。

表2-11 収集回数(かん類)

		(n=68)	
		回答数	%
1	多い	0	0%
2	適当	56	82%
3	少ない	12	18%
		68	100%

収集回数

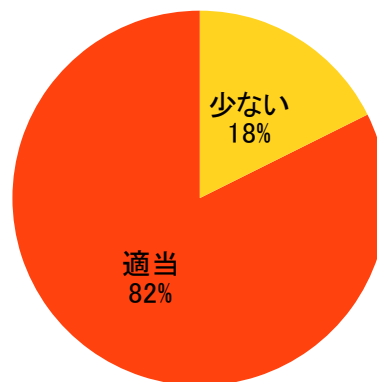


図2-10 収集回数割合(かん類)

表2-12 容器の大きさ(かん類)

		(n=57)	
		回答数	%
1	大きい	3	5%
2	適当	47	82%
3	小さい	7	12%
		57	100%

容器の大きさ 大きい 5%

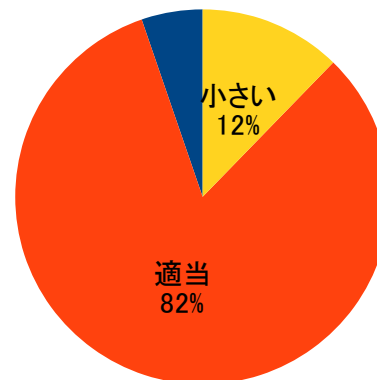


図2-11 容器の大きさ割合(かん類)

オ びん類

収集回数は、「適当」が約93%で最も多くなっています。

容器の大きさは、「適当」が約91%で最も多くなっています。

表2-13 収集回数(びん類)

(n=67)		
	回答数	%
1 多い	0	0%
2 適当	62	93%
3 少ない	5	7%
	67	100%

収集回数

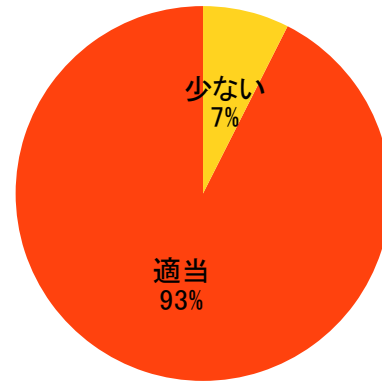


図2-12 収集回数割合(びん類)

表2-14 容器の大きさ(びん類)

(n=56)		
	回答数	%
1 大きい	1	2%
2 適当	51	91%
3 小さい	4	7%
	56	100%

容器の大きさ

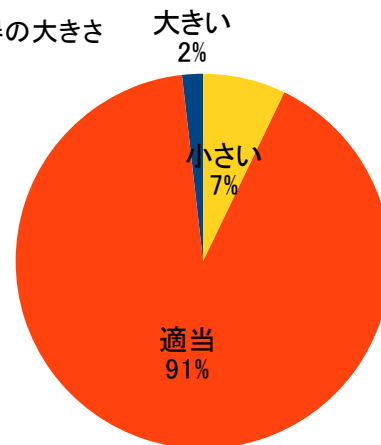


図2-13 容器の大きさ割合(びん類)

カ ペットボトル類

収集回数は、「適当」が約85%で最も多くなっています。

容器の大きさは、「適当」が約79%で最も多くなっています。

表2-15 収集回数(ペットボトル)

		(n=67)	
		回答数	%
1	多い	0	0%
2	適当	57	85%
3	少ない	10	15%
		67	100%

収集回数

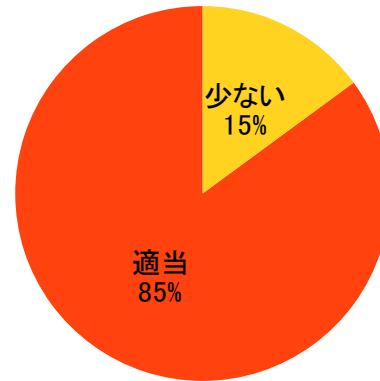


図2-14 収集回数割合(ペットボトル)

表2-16 容器の大きさ(ペットボトル)

		(n=58)	
		回答数	%
1	大きい	2	3%
2	適当	46	79%
3	小さい	10	17%
		58	100%

容器の大きさ

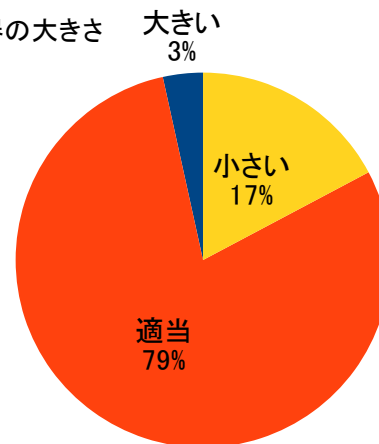


図2-15 容器の大きさ割合(ペットボトル)

キ プラスチック製容器包装

収集回数は、「適当」が約 88%で最も多くなっています。

容器の大きさは、「適当」が約 68%で最も多く、次いで「小さい」と回答した方が 32%となっています。

表2-17 収集回数(プラスチック製容器包装)

(n=67)

	回答数	%
1 多い	1	1%
2 適当	59	88%
3 少ない	7	10%
	67	100%

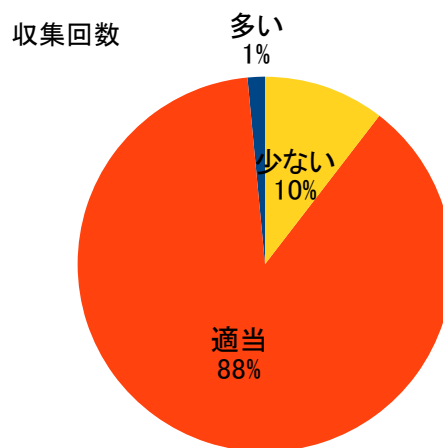


図2-16 収集回数割合(プラスチック製容器包装)

表2-18 容器の大きさ(プラスチック製容器包装)

(n=60)

	回答数	%
1 大きい	0	0%
2 適当	41	68%
3 小さい	19	32%
	60	100%

容器の大きさ

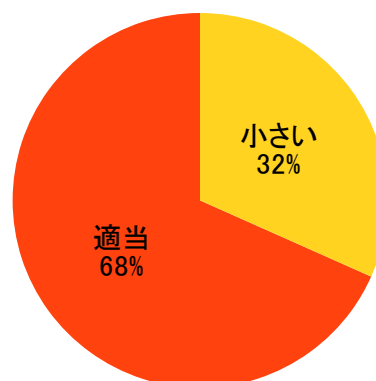


図2-17 容器の大きさ割合(プラスチック製容器包装)

ク 粗大ごみ

粗大ごみは、「適当」が約91%で最も多くなっています。

表2-19 収集回数(粗大ごみ)

		(n=67)	
		回答数	%
1	多い	3	4%
2	適当	61	91%
3	少ない	3	4%
		67	100%

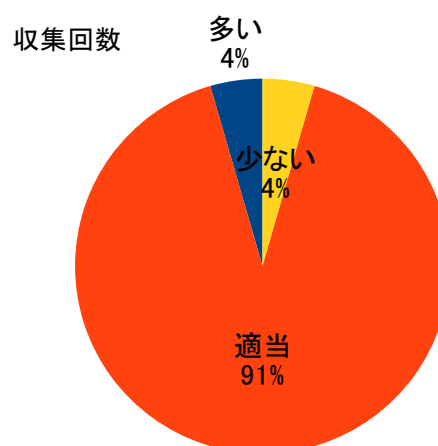


図2-18 収集回数割合(粗大ごみ)

【4 分別方法の確認について】

問4 市では、毎年「ごみ・資源物排出カレンダー」を配布して、皆様に分別方法をお知らせしています。あなたは、ごみ・資源物排出カレンダーの他に、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の分別は、何を見て調べますか。該当する選択肢ひとつに○をつけてください。

「市のホームページ」が約40%で最も多く、次いで「廃棄物対策課に直接問い合わせる」が約26%となっています。

表2-20 ごみ・資源物排出カレンダー以外の分別方法の調べ方

		(n=68)	
		回答数	%
1	市のホームページ (パソコン版ごみカレンダーや、スマートフォン版ごみカレンダー)	27	40%
2	LINEでチャット問い合わせサービス(マッシュくん)	0	0%
3	廃棄物対策課に直接問い合わせる	18	26%
4	何も見ない	11	16%
5	迷ったら、自分のルール・気分で決める	3	4%
6	その他	9	13%
		68	100%

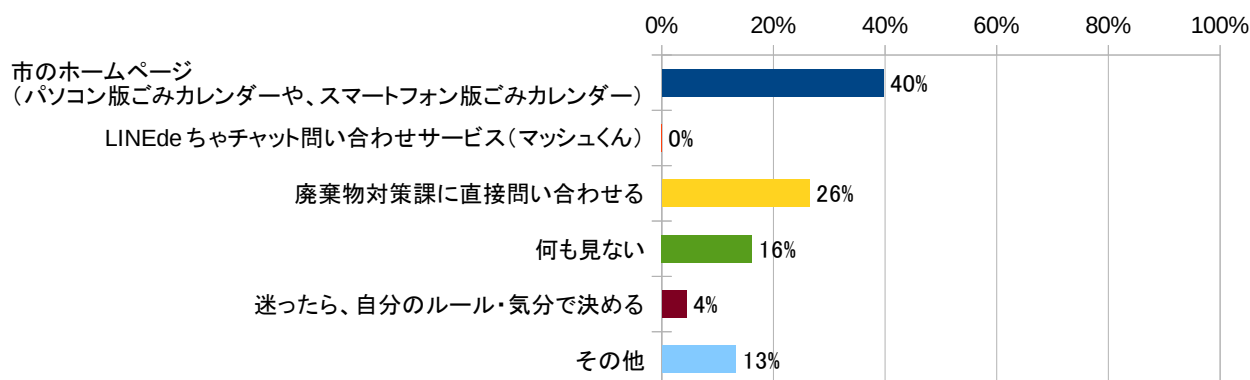


図2-19 ごみ・資源物排出カレンダー以外の分別方法の調べ方

【5 資源循環の活動について】

問5 国は3R(スリーアール/リデュース、リユース、リサイクル)活動を推進し、本市もさまざまな活動に取り組んでいます。
 あなたが実践しているエコ活動の取り組みについて、該当する選択肢に○をつけてください。

- ① ごみの量を減らすために、マイバックを持参するなどをして、不要なものは貰わず、本当に必要なものだけを選ぶように心がけている(リデュース)

「すでに実践している」が約90%で最も多くなっています。

表2-21 実践しているエコ活動の取り組み(リデュース)

(n=68)

	回答数	%
1 すでに実践している	61	90%
2 今後実践してみたい	7	10%
3 実践の考えはない	0	0%
4 わからない	0	0%
	68	100%

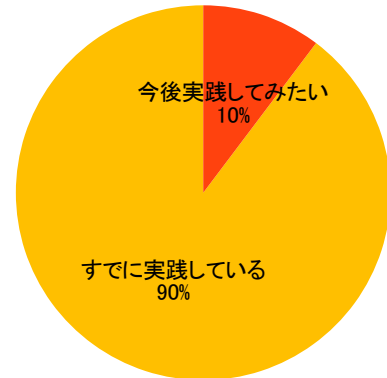


図2-20 実践しているエコ活動の取り組み割合(リデュース)

- ② ごみを出さないために、繰り返し使ったり、他の人に譲ったりすることで、ごみを減らしている(リユース)

「すでに実践している」が約75%で最も多くなっています。

表2-22 実践しているエコ活動の取り組み(リユース)

(n=67)

	回答数	%
1 すでに実践している	50	75%
2 今後実践してみたい	16	24%
3 実践の考えはない	1	1%
4 わからない	0	0%
	67	100%

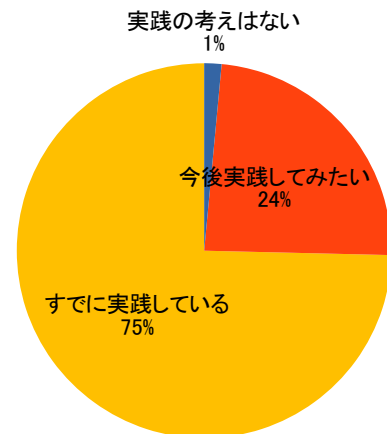


図2-21 実践しているエコ活動の取り組み割合(リユース)

③ ごみを減らすように工夫してもごみは出してしまう。そういったごみは、分別してリサイクルすることで資源の有効利用することを心がけている(リサイクル)

「すでに実践している」が約 82%で最も多くなっています。

表2-23 実践しているエコ活動の取り組み(リサイクル)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	56	82%
2 今後実践してみたい	11	16%
3 実践の考えはない	0	0%
4 わからない	0	0%
5 無回答	1	1%
	68	100%

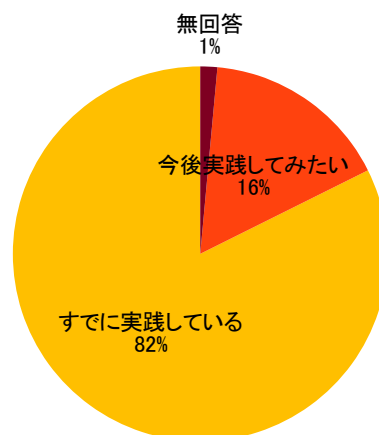


図2-22 実践しているエコ活動の取り組み割合(リサイクル)

④ コンビニやレジでのビニール袋などを断ることで、ごみの発生を抑えている(リフューズ)

「すでに実践している」が約 75%で最も多くなっています。

表2-24 実践しているエコ活動の取り組み(リフューズ)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	51	75%
2 今後実践してみたい	17	25%
3 実践の考えはない	0	0%
4 わからない	0	0%
	68	100%

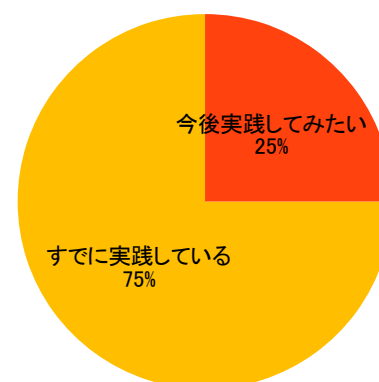


図2-23 実践しているエコ活動の取り組み割合(リフューズ)

⑤ 長期間使えるものを繰り返し修理することで、本来よりも長く使い続けている(リペア)

「すでに実践している」が約 71%で最も多くなっています。

表2-25 実践しているエコ活動の取り組み(リペア)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	48	71%
2 今後実践してみたい	18	26%
3 実践の考えはない	0	0%
4 わからない	2	3%
	68	100%

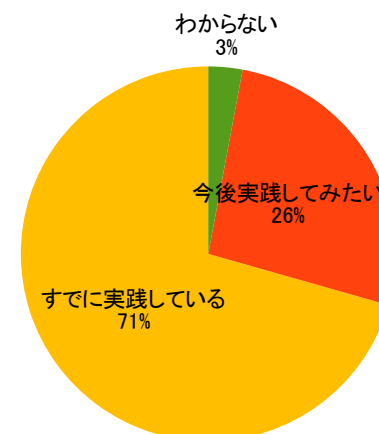


図2-24 実践しているエコ活動の取り組み割合(リペア)

⑥ 着られなくなった洋服のサイズを調整したり、新しい洋服に作りなおすことで、再び着られるようにしている(リフォーム)

「すでに実践している」が約 35%で最も多く、次いで「今後実践してみたい」が約 31%となっています。

表2-26 実践しているエコ活動の取り組み(リフォーム)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	24	35%
2 今後実践してみたい	21	31%
3 実践の考えはない	19	28%
4 わからない	4	6%
	68	100%

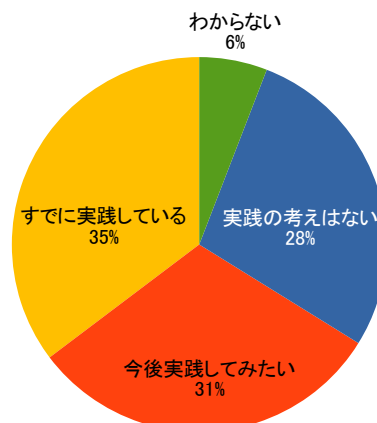


図2-25 実践しているエコ活動の取り組み割合(リフォーム)

⑦ 新しい商品を購入するのではなく、フリーマーケット、リサイクルショップやインターネットなどで販売されている中古商品を購入することで、物を再利用している(リバイ)

「すでに実践している」が約 41%で最も多く、次いで「今後実践してみたい」が約 35%となっています。

表2-27 実践しているエコ活動の取り組み(リバイ)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	28	41%
2 今後実践してみたい	24	35%
3 実践の考えはない	14	21%
4 わからない	2	3%
	68	100%

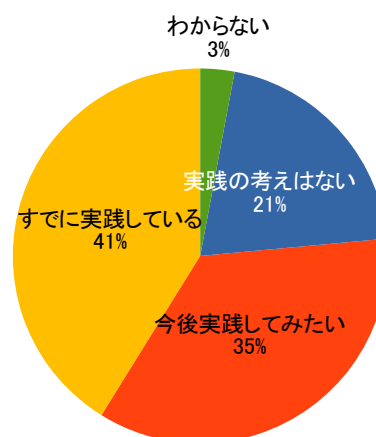


図2-26 実践しているエコ活動の取り組み割合(リバイ)

⑧ ビールびんや洋服など使った後に購入先に戻せるものがあれば、戻している(リターン)

「すでに実践している」が約 51%で最も多く、次いで「今後実践してみたい」が約 37%となっています。

表2-28 実践しているエコ活動の取り組み(リターン)

(n=68)		
	回答数	%
1 すでに実践している	35	51%
2 今後実践してみたい	25	37%
3 実践の考えはない	6	9%
4 わからない	2	3%
	68	100%

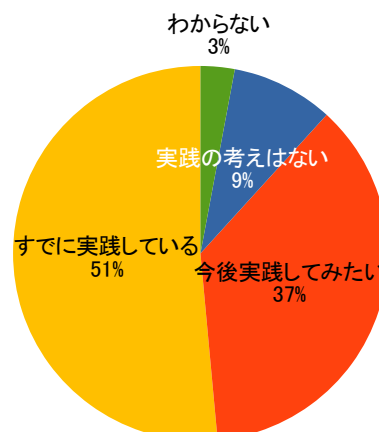


図2-27 実践しているエコ活動の取り組み割合(リターン)

⑨ リサイクルマークが付けられた再生品を使うことを心がけ、資源の節約をすることにつなげている(リジェネレーション)

「今後実践してみたい」が約50%で最も多く、次いで「すでに実践している」が約31%となっています。

表2-29 実践しているエコ活動の取り組み(リジェネレーション)
(n=68)

	回答数	%
1 すでに実践している	21	31%
2 今後実践してみたい	34	50%
3 実践の考えはない	9	13%
4 わからない	4	6%
	68	100%

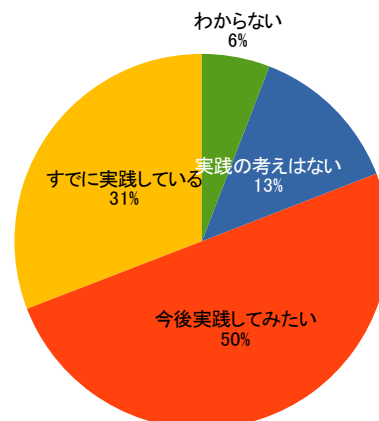


図2-28 実践しているエコ活動の取り組み割合(リジェネレーション)

⑩ 購入する前に、自分にとって本当に必要なものかをもう一度考えている(リシンク)

「すでに実践している」が約72%で最も多く、次いで「今後実践してみたい」が約22%となっています。

表2-30 実践しているエコ活動の取り組み(リシンク)
(n=68)

	回答数	%
1 すでに実践している	49	72%
2 今後実践してみたい	15	22%
3 実践の考えはない	1	1%
4 わからない	2	3%
5 無回答	1	1%
	68	100%

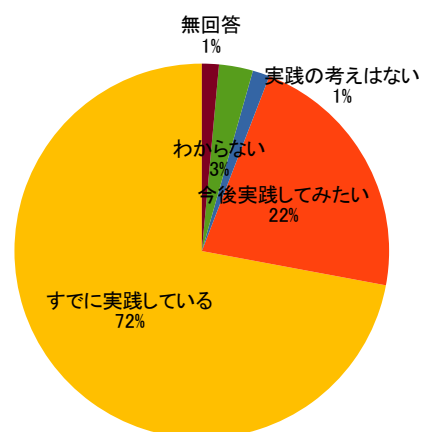


図2-29 実践しているエコ活動の取り組み割合(リシンク)

⑪ レンタルやシェアで所有するものを減らしている(レンタル)

「今後実践してみたい」が約35%で最も多く、次いで「すでに実践している」が約34%となっています。

表2-31 実践しているエコ活動の取り組み(レンタル)
(n=68)

	回答数	%
1 すでに実践している	23	34%
2 今後実践してみたい	24	35%
3 実践の考えはない	14	21%
4 わからない	6	9%
5 無回答	1	1%
	68	100%

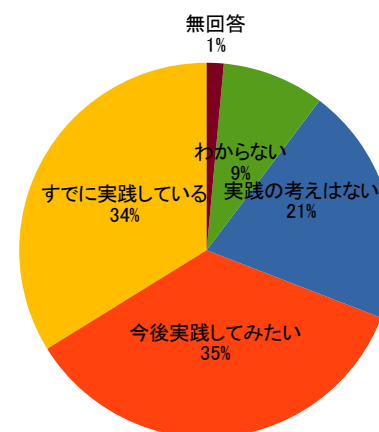


図2-30 実践しているエコ活動の取り組み割合(レンタル)

【6 雑がみについて】

問6 下記の雑がみの出し方を知っていますか。該当する選択肢ひとつに○をつけてください。

〈参考〉

雑がみとは、家庭より発生する紙・板紙及びその製品で、新聞(折込チラシを含む)、雑誌、段ボール、飲料用パックのいずれの区分にも入らないものをいいます。具体的には、家庭で不要となった投込みチラシ、コピー紙、包装紙、紙袋、紙箱などの紙全般を指します。
「出し方 ① 雑誌と一緒に束ねる ② 紙袋に入れて出す」



雑がみの出し方は、「知っている」が約54%で最も多く、次いで「ある程度知っている」が約29%となっています。

表2-32 雑がみの出し方

(n=68)

	回答数	%
1 知っている	37	54%
2 ある程度知っている	20	29%
3 ほとんど知らない	10	15%
4 無回答	1	1%
	68	100%

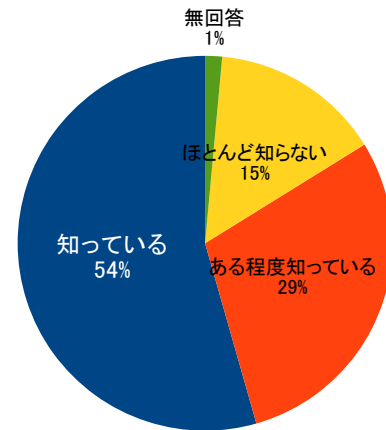


図2-31 雑がみの出し方割合

【7 シュレッダーごみについて】

問7 あなたは不要になった文書などをシュレッダーにかけて、燃やせるごみに出していますか。

〈参考〉

シュレッダーとは、不要になった文書などを細かく裁断する機械

シュレッダーごみの排出方法は、「出していない」が約76%で最も多く、次いで「燃やせるごみに出している」が約22%となっています。

表2-33 シュレッダーごみの排出方法

(n=68)

	回答数	%
1 燃やせるごみに出している	15	22%
2 出していない	52	76%
3 無回答	1	1%
	68	100%

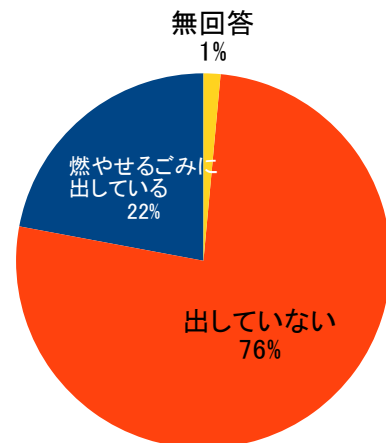


図2-32 シュレッダーごみの排出方法割合

問8 上記問7で「出している」と回答した方に伺います。その数量をお書きください。

1年間で45リットルのごみ袋で、約_____袋くらい

シュレッダーごみの年間排出数量は、「1袋」が約40%で最も多くなっています。

表2-34 シュレッダーごみの年間排出数量

		(n=15)	
		回答数	%
1	1袋	6	40%
2	2袋	3	20%
3	3袋	1	7%
4	4袋	3	20%
5	5袋	1	7%
6	6袋	1	7%
		15	100%

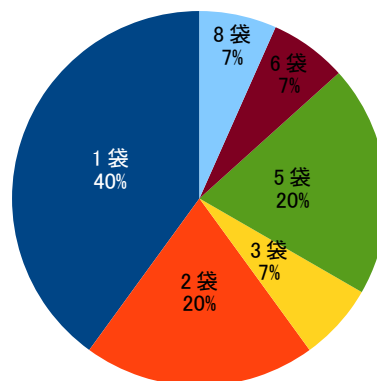


図2-33 シュレッダーごみの年間排出数量割合

【8 古布ごみについて】

問9 市では、燃やせるごみを減らすため、古布類の回収を検討しています。あなたの、現在の古布(衣類、タオル類など)の出し方について教えてください。該当する選択肢すべてに○をつけてください。

古布類の排出方法は、「燃やせるごみとして出している」が約47%で最も多くなっています。

表2-35 古布類の排出方法

		(n=104)	
		回答数	%
1	燃やせるごみとして出している	49	47%
2	町内会などの集団回収の時に出している	3	3%
3	市などのイベント回収の時に出している	1	1%
4	購入した店舗に回収ボックスを設置している場合は、出している	11	11%
5	古布買取業者に出している	7	7%
6	不要になった衣類等がまだ着られる場合、知人や親戚とゆずりあっている	15	14%
7	不要になった衣類等がまだ着られる場合、リサイクルショップやフリーマーケットに出している	15	14%
8	その他	3	3%
		104	100%

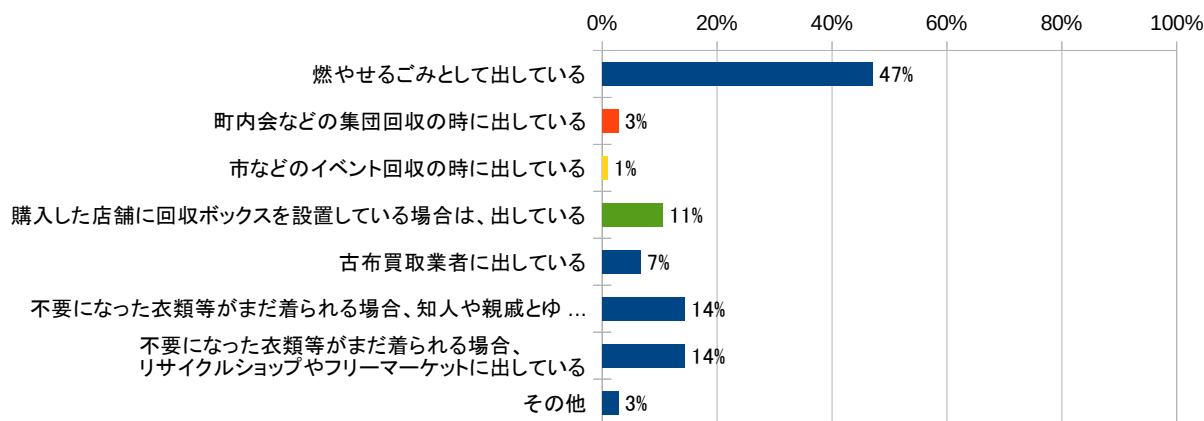


図2-34 古布類の排出方法

問 10 上記問9で、1 燃やせるとして出していると回答した方にお聞きします。年間どのくらいの古布(衣類、タオル類など)を燃やせるごみに出していますか。その数量をお書きください。

1年間で45リットルのごみ袋で、約_____袋くらい(古布のみで換算してください)

古布類の年間排出数量は、「1袋」が約35%で最も多くなっています。

表2-36 古布類の年間排出数量

		(n=48)	
		回答数	%
1	1袋	17	35%
2	2袋	12	25%
3	3袋	9	19%
4	4袋	3	6%
5	5袋	4	8%
6	6袋	2	4%
7	7袋	1	2%
		48	100%

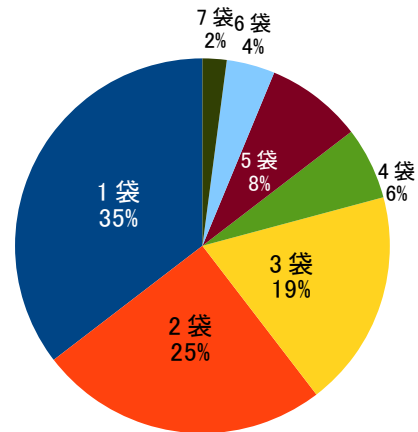


図2-35 古布類の年間排出数量割合

【9 生ごみについて】

問 11 生ごみ減量化の取り組みで実践しているものすべてに○をつけてください。

実践している生ごみ減量化の取り組みは、「生ごみを出す際には、水をしっかり切って出している」が約54%で最も多くなっています。

表2-37 実践している生ごみ減量化の取り組み

		(n=99)	
		回答数	%
1	生ごみを出す際には、水をしっかり切って出している	53	54%
2	生ごみが出ないよう、食材を食べ切るようにしている (野菜の皮を調理する、残り物を別な料理にリメイクするなど)	29	29%
3	生ごみを自家処理(堆肥化)している	15	15%
4	その他	2	2%
		99	100%

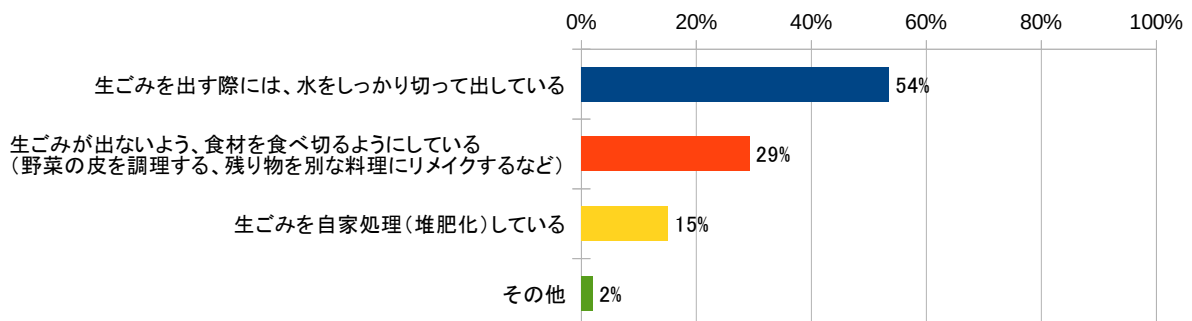


図2-36 実践している生ごみ減量化の取り組み

【10 食品ロスについて】

問 12 宴会等で食品ロス(食べ残し)を減らす取り組み、「3010運動(さんまるいちまる)」を知っていますか。

3010 運動の取り組みは、「知らない」が約 46%で最も多く、次いで「知っている」が約 40%となっています。

表2-38 3010運動の取り組み

(n=68)		
	回答数	%
1 知っている	27	40%
2 知らない	31	46%
3 聞いたことはある	10	15%
	68	100%

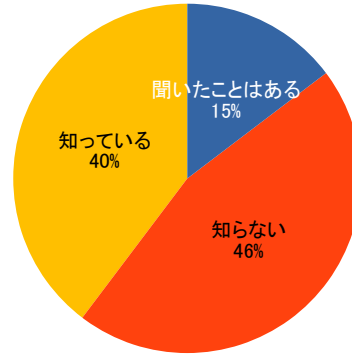


図2-37 3010運動の取り組み割合

問 13 あなたは、職場や知人等と、実際に宴会等で「3010運動」を実践したことはありますか。

3010 運動を実践したことがありますかは、「ない」が約 74%で最も多くなっています。

表2-39 3010運動を実践したことはありますか

(n=68)		
	回答数	%
1 ある	17	25%
2 ない	50	74%
3 無回答	1	1%
	68	100%

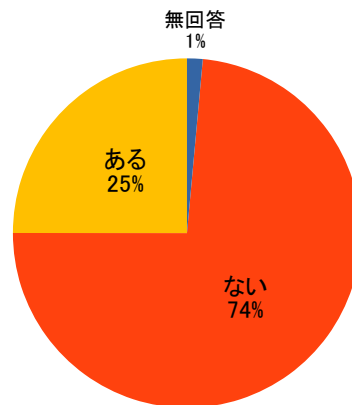


図2-38 3010運動を実践したことはありますか割合

問 14 問 13 で「ない」と回答した方に伺います。今後、機会があれば実践してみたいと思いますか。

機会があれば 3010 運動を実践してみたいと思いますかは、「はい」が約 86%で最も多くなっています。

表2-40 機会があれば3010運動を実践しますか

(n=50)		
	回答数	%
1 はい	43	86%
2 いいえ	6	12%
3 無回答	1	2%
	50	100%

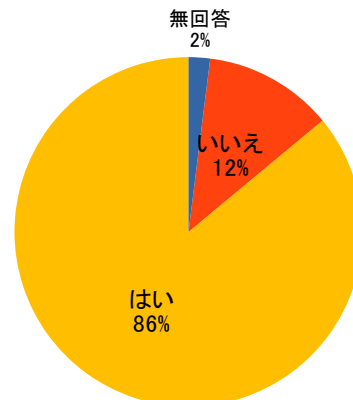


図2-39 機会があれば3010運動を実践しますか割合

【11 ごみの有料化について】

問 15 ごみステーションに出す家庭ごみの処理に要する経費の一部負担(ごみ袋に手数料を上乗せして購入など)していただく仕組みについてどのように考えますか。あなたの考えに近い選択肢ひとつに○をつけてください。

〈解説〉

ごみ減量化や住民のごみの排出量に応じた公平な費用負担、自治体の財政負担の軽減などを目的に、国は『ごみの有料化』を推進しています。
 現在、全国では65%の自治体のごみの有料化を実施しています。その料金は、45リットルの袋1枚につき30円～80円程度で実施しています。

家庭ごみの処理に要する経費の一部負担について、「条件が整えば負担してもよいと思う」が約49%で最も多く、次いで「負担してもよいと思う」が約24%でした。

「負担してもよいと思う」と「条件が整えば負担してもよいと思う」を合わせた経費負担に好意的な意向は約73%であり、一方、「負担しない」は約19%でした。

表2-41 有料化の考え方(ごみ処理経費の一部負担)

(n=68)

	回答数	%
1 負担してもよいと思う	16	24%
2 条件が整えば負担してもよいと思う	33	49%
3 負担しない	13	19%
4 わからない	4	6%
5 その他	2	3%
	68	100%

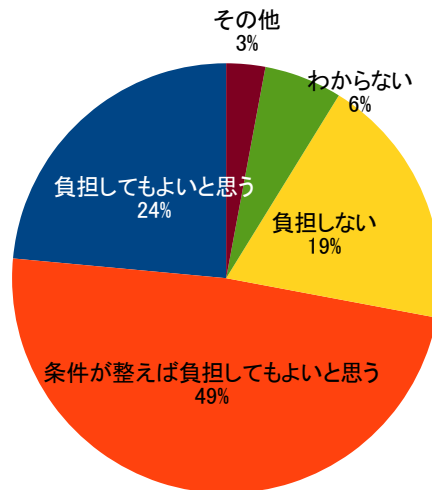


図2-40 有料化の考え方(ごみ処理経費の一部負担)割合

問 16 上記問 15 で「1 負担してもよいと思う」「2 条件が整えば負担してもよいと思う」と回答した方にお聞きします。主な理由をお答えください。該当する選択肢ひとつに○をつけてください。

「負担してもよいと思う」「条件が整えば負担してもよいと思う」と回答した 49 人の、負担してもよいと思う理由は、「ごみの減量化・再資源化が進むことが期待できるから」が約 45%で最も多く、次いで「家庭でのごみ減量化の努力が負担額に反映され公平化が図れるから」が約 33%でした。

表2-42 有料化の考え方(経費負担の理由)

		(n=49)	
		回答数	%
1	ごみの減量化・再資源化が進むことが期待できるから	22	45%
2	家庭でのごみ減量化の努力が負担額に反映され公平化が図れるから	16	33%
3	ごみの減量化によりごみ処理費の削減となるから	8	16%
4	その他	3	6%
		49	100%

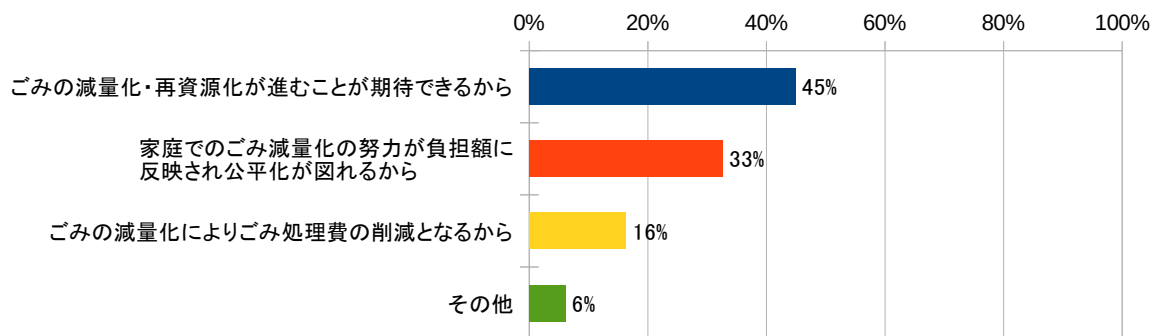


図2-41 有料化の考え方(経費負担の理由)

問 17 上記問 15 で「2 条件が整えば負担してもよいと思う」と回答した方にお聞きします。負担する条件として必要なことはなんですか。該当する選択肢すべてに○をつけてください。

「条件が整えば負担してもよいと思う」と回答した 33 人の負担する条件は、「現状のごみ処理費の内訳や根拠を明らかにすること」「ごみの減量化・再資源化の努力をした人は、支払いが少なくなるような公平な仕組みを作ること」が約 17%で最も多く、次いで有料化による収入の使い道を明らかにすること」「分別収集品目を増やすなど、リサイクルを促進させること」が約 12%でした。

表2-43 有料化の考え方(経費負担の条件)

		(n=102)	
		回答数	%
1	現状のごみ処理費の内訳や根拠を明らかにすること	17	17%
2	ごみの減量化・再資源化の努力をした人は、支払いが少なくなるような公平な仕組みを作ること	17	17%
3	ごみの減量化・処理費用の削減などの効果を明らかにすること	11	11%
4	有料化による収入の使い道を明らかにすること	12	12%
5	不法投棄が増えないよう、パトロール等の対策をとること	11	11%
6	実施に際しては、市民の意見を十分聴取すること	11	11%
7	分別収集品目を増やすなど、リサイクルを促進させること	12	12%
8	子育て世帯や、生活保護世帯などを対象に負担を軽減すること	10	10%
9	その他	1	1%
		102	100%

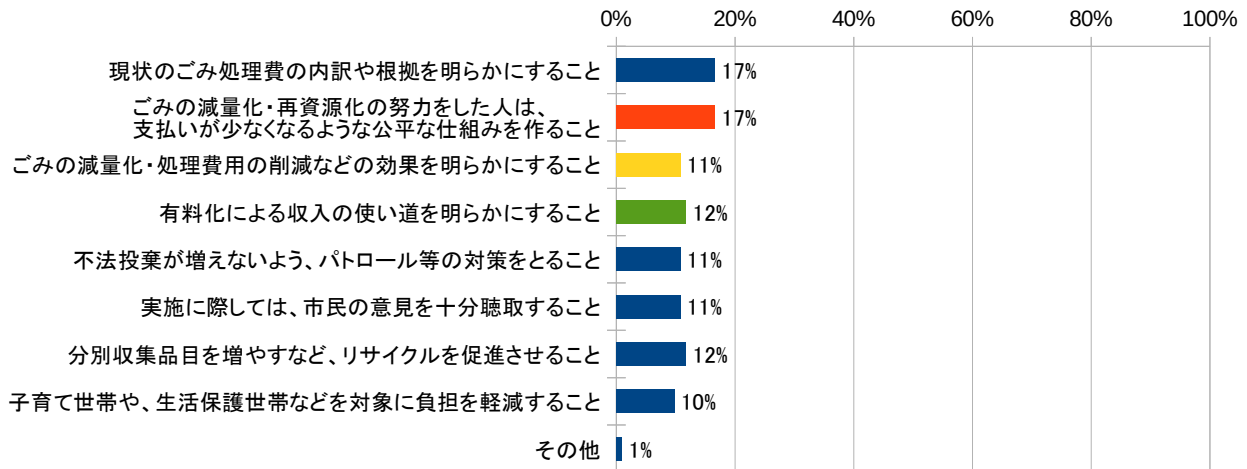


図2-42 有料化の考え方(経費負担の条件)割合

問 18 その他、ごみ収集に関するご意見・ご要望等がございましたら、お教えください。
(自由記載)

(いただいたご意見を抜粋して掲載します。文面については、できるだけそのまま掲載していますが、意味を損ねない程度に修正して掲載している場合があります。)

○ごみ処理は生涯、誰しもお世話になります。ですが、気軽に捨てられる分費用の事、環境の事、最終処分場の事を理解してる方は少ないと思います。学校教育だけでは足りないのも、大人、企業にも教育は必要だと思います。お金を払えばいいというのではなく、食べ物の産地を気にするのと同じくごみの行く末もみんな考えてはいけないと思います。

○草や木の収集日を別に決めて欲しい。

○ごみ出しのルールを守らない人がいる。収集が終わった頃に持って来る人がいて困る。

○集合住宅在住者のごみ出しマナーが良くない。町内役員の負担となっており、管理する不動産業者に行政からも指導の徹底を図って欲しい。

○夜にごみを出す方がいる。

○びん、かん、ペットボトルの収集回数を増やしてほしいです。

○ごみ出しのルールとマナーが守られない方がいます。看視員が必要と思われませんが、なってくれる方がいないようで、収集が終わった後で整理しております。

○市民ひとりがこれだけのごみの量をへらせば処理料金がこれだけ減る。「市として年間でこの量だけ減らそう」を具現化して市民が同じ目標の数値を達成するようにしたらどうか。228/238位はあまりにもひどいと思います。啓蒙活動が必須だと思います。

○ごみ出しのマナーが悪い地域に対し、説明会の必要あり。

○通勤途中、ごみ収集所に黄色ネット(カラス対策ネット)が掛けられているが、雑な掛け方のために効果がなく、カラスが群がり路面にごみやビニール袋が散乱しているのを見かける。近隣住民のごみ出しの意識や、カラス対策の工夫が必要と感じた。

○企業ごみと思われるものが毎週ごみ収集場所に出ている。一般家庭以外にも地区のごみ収集場所に出してもいいのか。

○ペットボトル・かんも日常出るので毎週収集してほしい。生ごみは夏など季節により週3にしてもらいたい。年末年始も可燃ごみは収集していただきたい。

○うちは商業区で近くにコンビニもあるためポイ捨てが多い。なんとかしてほしい。

○住宅地はごみSTが完備されているが、旧市街地は網を被せただけで道路の端に出されており、環境的にも良くない。早急に回収する特別のルールがあっても良いと思う。どの地区も同じ対応ではなく、地域の実情にあった対応こそが市民の為を思う市政だと考える。

○何度かに一度はマナーの悪い出し方をする方がいて、次の収集日まで、そのまま残ってしまっていることがある。もう一度、各家庭に文書なりで対応してほしい。

○当町内会ではごみ箱を施錠しているため、ごみ収集日以外はごみがないが、他の地区ではいつだなしに出している為、不衛生に感じられる所が多々あります。町内で集める人の身にもなってみんなで衛生的にごみ収集をお願いできる環境に思っています。いつも収集者には感謝です。

○リサイクルできるもの(紙・プラ)も燃やせるごみに出している人がいるなどいつも感じている。1人1人の意識をあげる取組も必要か。ごみの有料化も必要かと思うが、不法投棄が増えることも心配である。「古布・古着」の収集によって、海外へのリサイクルや工場ウエスに利用できるのではないかと。

○有料化でごみ排出の個人負担が生じれば、必ず不法投棄が多くなる。このことから、ごみ排出の負担は、現状のように、住民税へ包含するなど、総合的な税金の中で処理することが望ましい。